

高度先進インプラント・歯周病学入門（児玉利朗）

Intoroduction to Highly Advanced Implantology and Periodontology (Toshiro Kodama)

キーワード

- ① 高度先進口腔医学
- ② インプラント治療学
- ③ 歯周病治療学
- ④ インプラントー歯周病疾患との相関
- ⑤ 無歯顎部ならびに歯周組織診断

授業概要

インプラント・歯周病学の基本概念について歯周組織やインプラント周囲組織を十分理解した上で、診査診断・治療計画・治療法・外科治療・メンテナンス・SPTの観点から講義を行う。さらに、歯周組織とインプラント周囲組織の差異について十分認識できるよう講義を行い、それぞれの項目に対する研究論文抄読ならびに解説を行う。その後、各項目に関する研究方法や実施方法を討論する。この結果をもとに、現在実施されている研究のテーマの調査や絞り込みを教育する。以上より、今後の研究課題について検討する。

授業科目の学修目標

歯周病の疾患の実態を理解した上で、それに従った無歯顎部診断を確実に実践し、口腔内全体を見据えた診断や治療法を確立するための基礎知識の構築を実施する。また、大学院生としてエビデンスの背景に基づいた知識や研究方法を構築する。

授業計画

- ① インプラント周囲組織・歯周組織概論 2コマ 児玉利朗
- ② インプラント治療学概論 4コマ、歯周病治療学概論・倫理的背景 4コマ 児玉利朗
- ③ 無歯顎部診断学 4コマ、歯周組織診断学 4コマ 児玉利朗
- ④ インプラント・歯周病関連疾患 4コマ、インプラント周囲炎の治療学 2コマ 児玉利朗
- ⑤ 総合診断学 2コマ、エビデンスベース検討と理解ならびに研究テーマ検討 4コマ 児玉利朗

教科書および参考書

ITI Treatment Guidel~8, Color Atlas of Periodontology (ラタイチャーク)

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

高度先進インプラント・歯周病学入門では、授業科目に応じた基本知識の修得ならびに関連する文献検索とその理解が必要である。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① インプラント周囲組織・歯周組織が説明できる。
- ② インプラント治療学、歯周病治療学・倫理的背景が説明できる。
- ③ 無歯顎部診断、歯周組織診断が立案できる。
- ④ インプラント・歯周病関連疾患ならびにインプラント周囲炎治療の解説ができる。
- ⑤ 総合診断の立案、研究テーマの検索ができる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
30%	0%	30%	0%	0%	40%	0%

評価の要点

試験は講義内容の理解度ならびに基礎知識を確認する30%、レポートは関連する文献検索のレベルを評価する30%、試験ならびにレポートの基礎知識の確認とディスカッション能力の確認40%

理想的な達成レベルの目安

高度先進インプラント・歯周病学入門では最低70%以上を達成目標とする。